

RPA, AI-OCR 保守運用及び RPA シナリオ作成支援業務 公募型プロポーザル実施基本方針

1. プロポーザル方式の採用理由

本調達には、単なる RPA ツールの購入だけでなく、業務分析、最適な自動化シナリオの設計、導入後の安定的な運用支援を含む専門知識とノウハウを必要とするものである。そのため、提案事業者の持つ技術力、導入実績、業務への理解度、保守運用体制を総合的に評価し、本市の業務改善効果を最大化できる最適な業者を選定することを目的に公募型プロポーザル方式を採用する。

2. 期待できる効果

様々な要素を総合的に判断することにより、本事業の目的を達成するために最も適した事業者を選定することができる。

3. 事業スケジュール

令和7年 11月下旬	実施準備、指名選考委員会（11/26）
12月上旬	公募開始
12月下旬	提出意思確認、質問事項の対応
令和8年 1月中旬	審査会実施
1月下旬	事業者の決定、契約
令和8年3月～令和9年2月	勉強会・研修会の実施、シナリオ作成
令和8年3月～令和13年2月	保守運用

4. 審査方法

審査にあたっては、庁内の部課長等による審査委員会を設置し審査を行う。
審査項目については、事業に対する提案、価格等を総合的に審査する。